

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川宗平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,775	52.5	552	142.0	597	140.4	430	621.5
29年3月期第3四半期	2,475	10.4	228	43.8	248	41.0	59	71.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 453百万円 (159.3%) 29年3月期第3四半期 174百万円 (5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	85.66	85.55
29年3月期第3四半期	11.91	11.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,420	3,062	68.0
29年3月期	3,883	2,577	65.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,007百万円 29年3月期 2,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,172	22.4	409	11.7	444	25.3	268	97.3	53.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	5,101,300 株	29年3月期	5,076,100 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	58,001 株	29年3月期	58,000 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	5,030,582 株	29年3月期3Q	5,014,936 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は緩やかな回復基調のもとGDPもプラス成長を遂げました。しかしながら緊張の高まったアジア情勢の地政学的リスクなどの要因を抱えており、先行き不透明な部分もあります。

当社グループが所属するエンターテインメント業界におきましては、家庭用ゲーム市場ではNintendo Switch及びPlayStation4の販売台数が好調に推移し、「仮想現実(VR)」や「拡張現実(AR)」、「角速度センサー(ジャイロセンサー)」などの技術を活かした斬新な製品が多数発表されております。また、スマートフォンゲーム市場では大手ゲームメーカーの参入も増え、人気タイトルを利用したアプリ配信が増加するなど安定的な成長が見込まれます。

当社グループはこのような経営環境の中、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる強いコンテンツメーカーとして、世界中の方々に楽しさを提供できるよう引き続き『商品戦略』『技術力向上』『人材育成』『グループ統制』を中期戦略として取り組んで参ります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの状況は以下のとおりです。

日本一Indie Spiritsとして平成29年10月に『Nidhogg2(ニーズヘッグ2)』、12月に『The Sexy Brutale(セクシー・ブルテイル)』、『アンエピック-オタクの小さな大冒険-』の配信を行いました。さらに、『Yonder青と大地と雲の物語』の発表を行い、今後も海外のタイトルを積極的に発掘し、収益拡大を目指して参ります。

また、Nintendo Switch専用ソフト『魔界戦記ディスガイア5』の世界累計出荷本数が平成30年1月に20万本を突破いたしました。

そして、新規タイトルとして『あなたの四騎姫教導譚』『シルバー2425』を発表いたしました。

スマートフォンアプリにおいては『魔界ウォーズ』の配信に向け、平成29年12月から事前登録の受付を開始いたしました。

その他PlayStation Network及びSteamを通じたダウンロードコンテンツの配信、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を引き続き行って参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,775,868千円(前年同期比52.5%増)、営業利益552,144千円(前年同期比142.0%増)、経常利益597,136千円(前年同期比140.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益430,930千円(前年同期比621.5%増)となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,420,839千円となり、前連結会計年度末に比べ537,459千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ501,506千円の増加）、仕掛品の増加（前連結会計年度末に比べ153,178千円の増加）、前払費用の減少（前連結会計年度末に比べ95,194千円の減少）によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加（前連結会計年度末に比べ193,503千円の増加）によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,357,880千円となり、前連結会計年度末に比べ51,614千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少（前連結会計年度末に比べ210,000千円の減少）、賞与引当金の減少（前連結会計年度末に比べ35,598千円の減少）、売上値引引当金の増加（前連結会計年度末に比べ122,307千円の増加）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ125,777千円の増加）、退職給付に係る負債の増加（前連結会計年度末に比べ4,387千円の増加）によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,062,958千円となり、前連結会計年度末に比べ485,844千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末に比べ415,993千円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末に比べ10,492千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末に比べ11,936千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績見通しにつきましては、第4四半期連結会計期間の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。従いまして、平成29年3月期決算短信（平成29年5月12日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,181,316	1,682,823
受取手形及び売掛金	182,174	126,287
商品及び製品	102,359	41,431
仕掛品	231,003	384,182
前払費用	327,179	231,985
その他	211,154	130,260
貸倒引当金	△5,800	△5,808
流動資産合計	2,229,388	2,591,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	267,738	257,068
機械装置及び運搬具(純額)	1,236	2,400
土地	214,495	214,495
その他(純額)	30,993	25,665
有形固定資産合計	514,463	499,630
無形固定資産	25,684	26,481
投資その他の資産		
投資有価証券	1,089,858	1,283,362
その他	23,984	20,202
投資その他の資産合計	1,113,842	1,303,565
固定資産合計	1,653,991	1,829,676
資産合計	3,883,379	4,420,839

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,785	82,844
短期借入金	210,000	—
未払金	130,718	157,696
未払法人税等	5,127	32,812
賞与引当金	92,780	57,182
売上値引引当金	119,091	241,399
その他	132,069	132,997
流動負債合計	781,573	704,932
固定負債		
長期借入金	458,051	583,828
退職給付に係る負債	30,007	34,394
その他	36,633	34,723
固定負債合計	524,692	652,947
負債合計	1,306,265	1,357,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	525,840	540,241
資本剰余金	515,840	530,241
利益剰余金	1,403,341	1,819,335
自己株式	△16,870	△16,872
株主資本合計	2,428,150	2,872,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,522	22,014
為替換算調整勘定	100,708	112,645
その他の包括利益累計額合計	112,230	134,659
新株予約権	36,733	55,352
純資産合計	2,577,114	3,062,958
負債純資産合計	3,883,379	4,420,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,475,660	3,775,868
売上原価	1,279,910	2,039,400
売上総利益	1,195,749	1,736,467
販売費及び一般管理費	967,586	1,184,322
営業利益	228,163	552,144
営業外収益		
受取利息	31,896	36,201
受取配当金	147	172
為替差益	—	9,907
その他	8,743	2,334
営業外収益合計	40,787	48,616
営業外費用		
支払利息	2,476	3,094
為替差損	16,702	—
投資事業組合運用損	454	102
その他	938	428
営業外費用合計	20,571	3,624
経常利益	248,378	597,136
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,518
投資有価証券償還益	10,788	—
新株予約権戻入益	—	265
特別利益合計	10,788	21,784
特別損失		
投資有価証券評価損	74,427	—
固定資産除却損	—	2,533
特別損失合計	74,427	2,533
税金等調整前四半期純利益	184,739	616,387
法人税等	125,009	185,456
四半期純利益	59,729	430,930
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,729	430,930

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	59,729	430,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,235	10,492
為替換算調整勘定	47,901	11,936
その他の包括利益合計	115,137	22,429
四半期包括利益	174,866	453,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,866	453,359
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「パッケージ事業」「オンライン事業」「ライセンス事業」「その他事業」の4事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、従来、配信方法やサービス形態別に報告セグメントを分類しておりましたが、近年の市場環境の変化に伴い、商品・サービスの多様化が進み、配信方法別・サービス形態別に管理する意義は乏しくなっております。

また、当社グループにおきましては、平成29年に成長戦略を改めており、あらゆるエンターテインメント分野で活躍できる強いコンテンツメーカーとして成長を遂げるため、中期目標としてビジョン「Entertainment for All」の達成を目指しております。

このような状況を踏まえ、当社グループの販売活動、開発体制、内部管理体制、社内報告体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、当社グループの事業については一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。